

第1期 わのうち日本語教室

輪之内町では、この地域に住む外国人の方を対象として、生活するために必要な日本語を学ぶ日本語教室を、県と共同で開設しました。その中の一部を紹介します。

期間：令和4年8月27日～10月1日 毎週土曜日 10:00～12:00

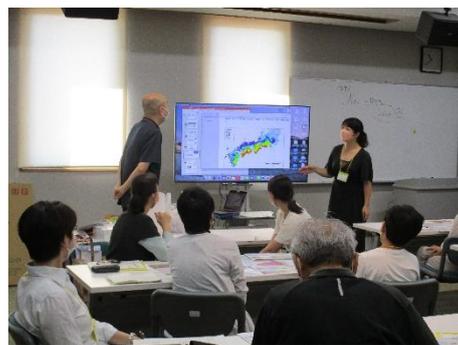
場所：輪之内町図書館2階

参加者：町内に住む外国人6名 学習支援者（ボランティア）10名
日本語指導員2名 コーディネーター1名

1 防災について



ハザードマップを見て
洪水時の浸水の深さを知る。



役場危機管理課の人から、災害
時の避難の仕方について聞く。

2 ゴミの分別について



女性会議の方から、ゴミの分別に
ついて話を聞く。



支援者といっしょに、町の指定の
ゴミ袋にごみを分ける。

3 防犯について



交通ルール、緊急通報の仕方について、警察の方から話を聞く



110、119ばんは、どんなときにどのようにかけるか、支援者と練習する。

4 買い物について



広告を見ながら、好きな食べ物、料理、よく行くお店について交流する。

5 病気について



カルタ取りをしながら、病気やけがの種類を知る。問診票の書き方について学ぶ。

回数を重ねるたびに、学習者（外国人）と支援員（町民ボランティア）の会話が弾むようになりました。学習者は、たくさん日本語が話せたことに楽しさを感じ、支援員は自分の話が相手に伝わったことに喜びを感じていました。学習者から「わのうちはいい町、すきになりました」という声が聞かれました。

また、第2期（R.5年2月～3月）を予定しています。

